

骨粗鬆しょう症新聲

2026年1月20日（火曜日）

第6号

骨粗鬆症の薬物療法 → 骨折予防

治療を続けることが 骨を守る力になる



骨粗鬆症は進行を止め、骨折を防ぐことができる“治療できる病気”です。

骨を守る薬には3種類のタイプがあります

骨吸収を抑える薬

骨が壊れるのを防ぐ
（ビスホスホネート、
デノスマブなど）

骨形成を促す薬

新しい骨をつくる
（テリパラチド、
ロモソズマブなど）

骨を支える薬

骨が壊れるのを防ぐ
（カルシウム、
ビタミンDなど）

続けることで、骨は強くなる

骨の代謝はゆっくり進むため、効果が出るまでに時間がかかります。
治療をやめると、せっかく強くなった骨がまた弱くなってしまいます。

“続けること”が、転倒や骨折を防ぐ一番の近道です。

医師、看護師、薬剤師と一緒に、効果的で無理なく続けられる治療を見つけましょう。

発行：骨粗鬆症リエゾンサービスセンター